

おきなわからへいわをとどけたい

石垣市立登野城小学校 二年
大城 洋輔

空を見上げると 青い空

白いくも

真っ赤なたいよう

そして エメラルドグリーンのうちみ

おとうさんがいて おかあさんがいる

おねえちゃんがいて おにいちゃんがいる

ぼくは、まいにち学校へいく

「いつてきます」

ぼくは、まいあさ校門でごあいさつをする

「おはようございます」

おかあさんが

「ようすけ これが へいわということなんだよ」

と言った

おとうさんが

「ふつうのことが しあわせなんだよ」

と、言った

ぼくは

「ふつうのことがへいわなんだな」

とおもった

かでのなおじいちゃんのをいえにいった

あんぼのおかから、かでなきちがみえた

ひこうきのおともきこえた

「わあ「わら」

そのとき、『つるちゃん』をおもいだした

かぞくがみんなしんでいった

まわりが一しゆんで火のうみになった

「たすけて、たすけて」

と、いうこえがきこえたような気がした

ぼくのひいおじいちゃんも

せんそうでなくなつた

「もつと、生きていたかつたよう みんなにあい

たかつたよう」

と、いうこえがきこえてきた

よる、ほしをみた

きれいなよぞらで せいざもみえた

「せかいもへいわだといいいね」

と、おねえちゃんがいった

「せかいのみんなも見てるかな」

おにいちゃんもいった

「ぞらは つながっているから みんなこのほし

ぞらみてるよ」

おとうさんも おかあさんもいった

ぼくは おきなわから世界にへいわを

とどけていきたいと思つた

ぼくは、心の中でいひつた

世界のみんなが手をつないでほしいな

いつまでもこのふつうのせいかつを

つづけたいな

このへいわが いつまでもつづいてほしい

みんながずつとえがおでいれますように

ぼくが大きくなつたとき このだいすきな

おきなわがへいわであるように しつかりとま

もつていきたい ぼくもがんばります